

深イ～話！

No.38

このお話は、17年くらい前、講演会で聞いた話です。涙がこぼれるのをとめられなかったのを覚えています。

ある会社の「入社試験」です。その会社の社長さんは、毎年、入社試験の最後に、学生に次の二つの質問をします。

まず、学生に向って

「お母さんの肩たたきをしたことがありますか？」と問うと、ほとんどの学生は「はい!!」と答えるそうです。

次に、「あなたは、お母さんの足を洗ってあげたことはありますか？」と問うと、これにはほとんどの学生が「いいえ」と答えるそうです。

「それでは、三日間差し上げますので、その間に、お母さんの足を洗って報告にきてください。それで入社試験は終わりです」と・・・。

学生達は、そんなことで入社できるのなら、とほくそ笑みながら会社を後にするそうです。

ところが、母親に言い出すことが、なかなかできないと言います。

ある学生は、二日間、母親の後をついてまわり、母親から「おまえ、気が狂ったのか？」と聞かれました。

ついに息子は思い切って、「いや、あの～、お母さんの足を洗いたいんだけど」

それに対し母親は「なんだい？気持ち悪いね～!!」と話します。こうして、その学生は、ようやく母親を縁側に連れて行き、たらいに水を汲みお湯をたして準備をしました。

ところが、洗おうと左足を持ち替えた瞬間、あまりにも荒れてひび割れた母親の足の裏に気づきます。

その学生は心の中で、「うちはお父さんが早いうちに死んでしまって、お母さんが死に物ぐるいで働いて、自分と兄貴を養ってくれた。この荒れた足は、自分達のために働き続けてくれた足なんだ!!」と初めて気づき、こみ上げてきて胸が一杯になりました。

そして、「お母さん、長生きしてくれよな」と、思わず一言小さな声で言うのが精一杯でした。それまで、息子の「柄にもない親孝行」をひやかしていた母親は、心から「ありがとう!!」と言ったまま黙り込んでしまいました。

そして、ポトリ、ポトリと息子の手に母親の涙が落ちてきます。

学生は、母親の顔を見上げることができなくなって、「お母さん、ありがとう!!」と言って部屋に引きこもりました。

そして翌日、会社に報告に行きました。

「私はこんなに素晴らしい教育を受けたのは初めてです。社長、本当にありがとうございました」としみじみと話しました。

「君は一人で大人になったんじゃない。両親をはじめいろいろな人たちに支えられて大人になったんだ。これからはなあ、自分一人の力だけで一人前になるのではないんだ。私も、お客様や従業員や、いろいろな人達との出会いの中で、一人前の社会人にならせていただいたんだよ。」と・・・。